

**STROBE ACCESSORY**

# *HSS TTLコンバーター*

*Canon SS*

Rev.1.00

日本語



## 取扱説明書

## Instruction Manual

# はじめに

この度は、シーアンドシー/UWT製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前  
に、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みい  
ただいた後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## ⚠ 注意

本製品は電池残量がなくなった状態では、外付けストロボが使用できなくなります(TTL  
発光/マニュアル発光)。大切な撮影を行う前には、常に新しい電池に交換してご使用され  
ることを推奨します。

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載していま  
す。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

### ⚠ 危険

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が高いと想定されます。

### ⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

### ⚠ 注意

取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。  
また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性が想定されます。

## ⚠ 危険

- 本製品を分解・加工改造（ハンダ付けなど）・加熱・火中投入などをしないこと。火災や感電、発火・発煙の恐れがあります。分解・加  
工・改造品の浸水・破損・故障等の保証は、いたしかねます。修理や内部の点検は、ご購入の販売店にご相談ください。

## ⚠ 警告

- 指定以外の電池は使用しないこと。指定以外の電池を使用すると、ガスが発生して破裂する恐れがあります。
- 本製品を収納・運搬するときは、必ず電池をはずすこと。電池を装着したまま収納・運搬すると、意図せずスイッチが入り、火災の  
原因になります。
- カメラハウジングを開ける際は、人体に向けないこと。電池の発熱などが原因で本体内部が高圧になると、カメラハウジングが勢い  
よくはずれることがあり、ケガの原因になります。
- 本製品の内部に水や異物を入れないこと。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手で電池を触らないこと。感電の原因になります。
- 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する恐れがある場所では、使用しないこと。引火や爆発の原因になります。
- 本製品を乳幼児の手の届くところに置かないこと。付属品や小さな部品などを誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだ場  
合は、ただちに医師にご相談ください。

## ⚠ 注意

- 煙が出る、異音・異臭がするときは、ただちに使用を中止してご購入の販売店にご相談ください。
- 万一、浸水した場合は、ただちに電源を切り、すぐに使用を中止してください。
- カメラハウジングが浸水した場合、内部の圧力が高くなることがあります。カメラハウジングを開けるときの水が吹き出したり、カメラハウジングが跳ね上がったりすることがありますのでご注意ください。ケガの原因になります。
- カメラハウジングは気密構造となっています。密閉した状態で、航空機などで運搬すると、内外の気圧差が生じることがあります。密閉しない状態で運搬してください。
- 水しぶきのかかるところ、湿気の多いところ、海岸など砂のつきやすいところでは、本製品の開閉をおこなわないでください。水滴落下・浸水などにより故障の原因になります。
- 強い電波や磁気の発生する場所では、正常に動作しなくなることがありますのでご注意ください。
- 本製品を落としたり、振りまわしたり、撮影機材を持ったままボートから海に飛び込んだり、機材を海に投げ込むなど、強い衝撃を与えないでください。思わぬケガや破損・故障の原因となります。
- ストロボ・ライト・アクセサリ類は確実に固定し、落下・紛失などにご注意ください。また、必要以上に曲げたり、力を加えたりしないでください。思わぬケガや破損・故障の原因になります。
- 本製品および取り付け付けたアクセサリなどを持ってハウジングを持ち上げたり、運んだりしないでください。落下・破損など、思わぬケガや故障の原因になります。持ち運ぶ際は、ハウジング本体やグリップなどをお持ちください。
- 本製品の上に重いものを置いたり、乗ったりしないでください。重量で本体が変形して内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。また、浸水の原因にもなります。
- 薬品・化粧品、シンナーなどの石油系溶剤、台所用中性洗剤などは変形や損傷の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- 高温になるところに放置しないでください。特に炎天下や真夏の車内、車のトランクの中は非常に高温になりますので、絶対に放置しないでください。本製品は一部プラスチックを使用していますので、熱で本体が変形して内部部品が破損すると、火災・感電・故障などの恐れがあります。また、高温となる環境下に製品を密閉した状態で放置すると、内部の圧力が上がり本体の変形や反り等が生じて、浸水や結露を生じる場合があります。
- 水に濡れたところや湿気の多い場所で本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- ナフタリンや樟脳が入っている場所や、実験室などのような薬品を扱う場所に本製品を保管しないでください。カビやサビ、腐蝕・故障の原因になります。
- 万一、本製品の不具合により撮影できなかった場合でも、撮影内容、および撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- 本製品をご使用中に、万一、お客様の取り扱い上の不注意により破損・損傷などが生じた際のカメラ、レンズ、その他のアクセサリ等の交換・補償はいたしかねます。
- 本書の記載内容の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

# 電池使用上のご注意

## ⚠ 危険

- 電池を火中に投入したり、加熱しないこと。
- 電池に直接ハンダ付けしないこと。
- 電池を分解・改造しないこと。発熱・発火したり、強アルカリ性の液が飛散して危険です。
- 電池の端子部(＋と－)に金属物(針金やネックレス・ヘアピンなど)を接触させないこと。また、金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないこと。電池の液もれ・発熱・発火・破裂などにつながる恐れがあります。
- 電池の液もれが発生した場合は、すぐに火気より遠ざけること。もれた液や気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
- 万一、電池の液もれが発生し、液が皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水でよく洗い流すこと。皮膚に傷害を起こすことがあります。液が目に入ったときは失明の恐れがありますので、目をこすらずにきれいな水で洗い、ただちに医師にご相談ください。
- 電池はプラス、マイナスの向きが決められています。充電器や機器に接続するときうまくつながらない場合は、無理に接続しないこと。プラス、マイナスの向きを確かめてください。
- 電池を電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口に直接接続しないこと。

## ⚠ 警告

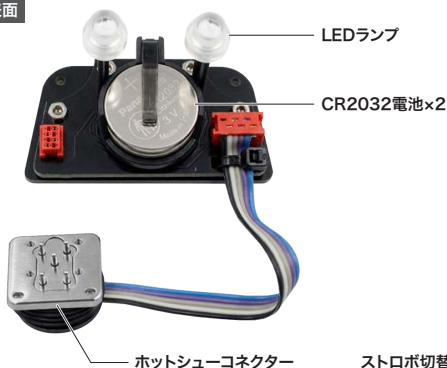
- 電池を水や海水等につけたり、端子部分を濡らさないこと。電池を発熱させたり、端子等のサビの原因になります。
- 電池のケースや外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと。電池が液もれ・発熱・破裂する原因になります。
- 電池が液もれ、変色・変形、その他従来と異なる場合は使用しないこと。異常と感じたときは、すぐに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
- 電池を誤って飲み込むことがないように、本体および電池は、特に乳幼児の手の届くところに置かないこと。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
- 電池を直射日光の当たるところや炎天下の車内、ストーブの前面などの高温の場所で使用、放置しないこと。電池の液もれ、発熱、性能低下、寿命短縮の原因となります。

## ⚠ 注意

- 電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 電池の端子が汚れると機器との接触が悪くなり、電源が切れる、充電されないなどが起こります。乾いた布などで拭いて端子をきれいにしてからご使用ください。
- 電池を使用機器に接続した状態で長時間放置しないでください。また、ご使用後は、使用機器のスイッチを必ず切ってください。液もれの原因になります。
- 電池を使用しない場合は、液もれやサビを避けるために使用機器から電池を取り出し、高温多湿な場所を避けて保管してください。
- 連続発光すると、フラッシュ側の充電が間に合わず発光が不安定になる場合があります。

# 各部名称

表面



裏面



## 使用方法

本製品は、カメラの発光信号をホットシュー経由で外部ストロボに伝達し、SEA&SEA製CANON製品対応ハウジングでTTL、マニュアル、HSS(ハイスピードシンクロ)調光を可能にします。

### カメラへの取付

カメラをハウジングにセットしたあと、TTLコンバーターのホットシューコネクタを、カメラ上部のアクセサリシューに取り付けます。TTLコンバーターの電源は自動的にONになります。

### ⚠ 注意

- 基板の保護と電池消費節約のため、使用後は必ずカメラからホットシューコネクタを取り外してください。
- 長期間使用しない場合は電池を取り外してください。
- 本製品は電池残量を表示するインジケータを備えていません。ストロボの不発光や露出不足を目途に電池を交換してください。

## カメラの基本セッティング

シャッター方式を  
【メカシャッター】に設定

露出モードは、シャッタースピード  
と絞りを手動で固定できる  
【Mモード】を推奨

## ストロボ切替スイッチの設定

使用するストロボに合わせてスイッチを切り替えます。  
以下の表をご参照のうえ、『』を回転させて任意の番号に設定します。

| CH | 対応ストロボ                                             |
|----|----------------------------------------------------|
| 0  | マニュアル発光 (プリ発光OFF)                                  |
| 1  | INON Z-240 / D-200                                 |
| 2  | SEA&SEA YS-D1 / INON S-220 / YS-D130R (HSS/TTL) *1 |
| 3  | SEA&SEA YS-D3MKII                                  |
| 4  | SEA&SEA YS-250                                     |
| 5  | No Signal                                          |
| 6  | INON Z-330                                         |
| 7  | SEA&SEA YS-D130R (HSS) *2                          |
| 8  | No Signal                                          |
| 9  | SEA&SEA YS-D3 DUO / YS-D130R (TTL) *2              |



スイッチの切り替えには精密マイナ  
スドライバーをご使用ください。

### SEA&SEA YS-D130R 使用時の注意

#### \*1 2026年5月以降の製品 (基盤にシールが貼付)

- ・HSSとTTLは同チャンネルで使用します。
- ・ストロボのカメラコードは Canon-C に設定してください。

#### \*2 2026年4月以前の製品

- ・水中でTTL調光とHSSの切り換えは行えません。陸上セッティング時に撮影モードを選択してください。
- ・TTL調光で撮影する場合はスイッチを「9」、HSSで撮影する場合は「7」にセット。
- ・ストロボのカメラコードは Canon-C に設定してください。



### SEA&SEA YS-D3 DUO 使用時のストロボ側設定

- ・プリ発光キャンセル設定を「5.6」(モードC)に設定してください。
- ・光入力設定を「1」(モード10 / 工場出荷時デフォルト)に設定してください。
- ・マニュアル発光の場合はストロボのマニュアルモードを「マニュアルモード2」(プリ発光なしシングル発光)に設定してください。

## 発光モード

### TTL

本製品に対応したストロボでTTL調光を行うことができます。

カメラの発光モードを  
【ETTL】に設定

シャッタースピードは【1/250】以下、  
ストロボを【TTL】モードにセット

外部ストロボ側、  
カメラ側ともに調光補正可能

本製品に対応したストロボでTTL調光が行えます。

- ・TTL調光は機材や撮影条件によって露出差が生じる場合があります。まずは ISO 200~400、広角の場合は F8~16 / マクロの場合は F16~22 からお試しください。撮影結果により感度や絞り値を調整してください。
- ・調光補正は外部ストロボ側またはカメラ側で行うことができます。
- ・2灯使用の場合は、ハウジングの各コネクタにシングルタイプの光ファイバーをそれぞれ接続してください。

### マニュアル

3通りの方法で行えます。カメラのシャッタースピードは1/250以下に設定します。

#### ①カメラメニューでのMモード設定

水中でTTL⇄Mモードの切り換えが可能。カメラ側のサブメニューで発光量を設定。

- \*一部ストロボは「1/1」設定でのみ発光する機種があります。
- \*SEA&SEA YS-D3 DUOはカメラ側の発光量制御不可。

#### ②ストロボでのマニュアルモード設定

カメラ側を「Mモード、発光量 1/1」に設定し、発光量はストロボ側で調整。

#### ③TTLコンバーターでの設定

ロータリースイッチを「0」にセット。  
発光量調整はストロボ側で。

- \*プリ発光は無効になります。
- \*水中でTTL調光に切り替えることはできません。

### HSS(ハイスピードシンクロ)

HSSモードに対応したストロボで使用することができます。

カメラ側のシンクロ設定を  
【ハイスピード】に設定。

ストロボ側を【HSS】モードに設定、  
シャッタースピード1/8000まで可能。

発光量の調整はストロボ側で。

# 電池の着脱



1枚目の電池の+極側を上にして、押え爪の下にスライドさせて押し込みます。



2枚目の電池の+極側を上にして、押え爪の下にスライドさせながら押し込みます。



2枚の電池がぴったりと重なるように位置を調整します。



取り外す場合は、上側の電池を少し引き起こしながら手前に引き出します。

## ⚠ 注意

- 金属製の棒やドライバーなどは、ショートのおそれがありますので絶対に使用しないでください。
- 電池の着脱時に基板を傷つけないよう十分注意してください。

## 仕様

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| バッテリー | CR2032電池×2                |
| 発光モード | TTL、マニュアル、HSS(ハイスピードシンクロ) |
| 発光回数  | 約5,000回                   |

### 対応ハウジング

- MDX-R5II
- MDX-R5
- MDX-R

### 対応ストロボ

- SEA&SEA YS-250
- SEA&SEA YS-D1
- SEA&SEA YS-D3 Mark II
- SEA&SEA YS-D3 DUO
- SEA&SEA YS-D130R
- INON Z-240 / D-200
- INON Z-330 / S-220

### 対応ファイバーケーブル(検証済)

- SEA&SEA 光ファイバーケーブル II S / 2コネクター
- SEA&SEA 光ファイバーケーブル II M / 2コネクター
- SEA&SEA 光ファイバーケーブル II L / 2コネクター
- Nauticam NA ユニバーサル オプティカルファイバー
- Nauticam NA ユニバーサル オプティカルファイバー L

※NAデュアルオプティカルケーブル(INON・S&S)は本システムのTTL調光に非対応。

**SEA&SEA**

---